

2015
全国版

上出来 *BEST* 8

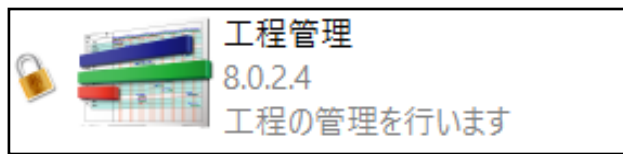


工程管理システム 操作手順書

【目次】

- 1. タイトルの作成 (2)
- 2. 予算の入力 (3-4)
- 3. バーチャート工程表の作成 (5-6)
- 4. 工程表の印刷 (7-8)
- 5. ネットワーク工程表の作成 (9-12)

【1. タイトルの作成】



「工程管理」システムを起動します。

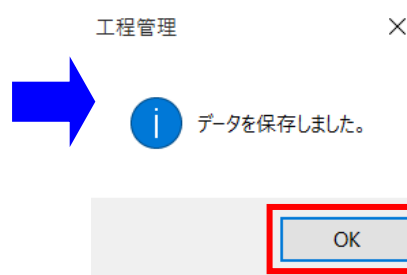


画面左上「新規作成」ボタンをクリックします。

画面右にタイトル設定画面が開くので、「タイトル名」を入力してください。「工事名」「工期」「現場代理人」等は、台帳管理で入力した項目が反映されます。

(一旦登録した後、修正がある場合は画面上「修正」ボタンを押してください)

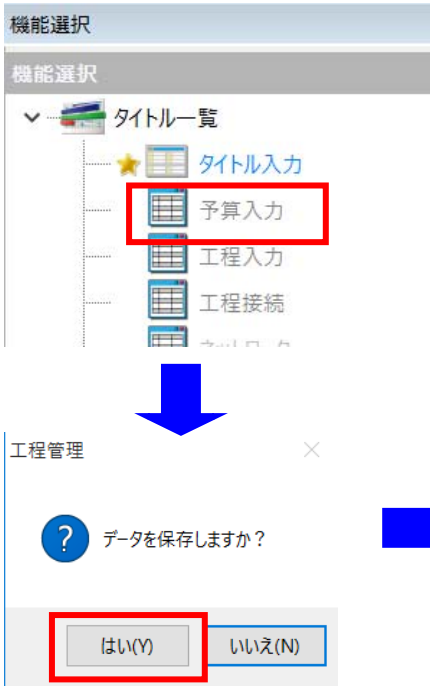
工事 No	12		
工事名	平成27年度 サンプル工事		
工期	H27/09/01 ~ H27/12/30		
タイトル名	当初工程表		
現場代理人	個利手句一	請負者	コリンズテクリス・サンプル建設JV
測定者	発注 太郎	工事事務所	
主任技術者	三附留三	出張所	
監督官	発注 太郎		
備考 1			
備考 2			



タイトル名等の入力完了したら画面上「登録」ボタンを押してください。

これでタイトルの作成が完了しました。

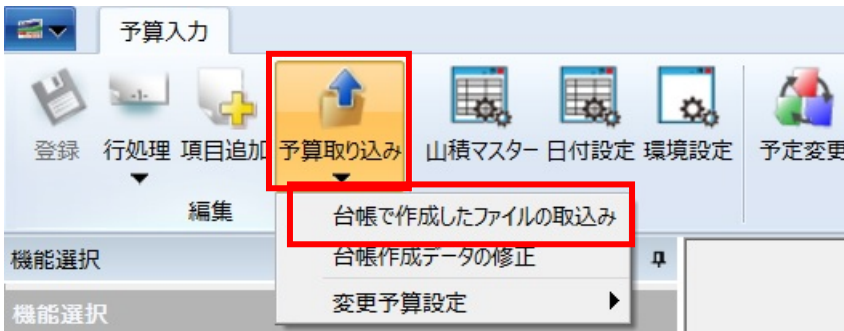
【2. 予算の入力】



機能選択より「予算入力」に切り替えます。

「データを保存しますか?」というウィンドウが開くので「はい」をクリックすると、下図のような予算入力画面に切り替わります。

区分番号	名称 摘要	単位	数量 日標準量	単価	金額	構成 比率
合計	当初工程表					100.00
費目 1		山積			¥0	0.00
					入力行	



画面上リボン「予算取り込み」→「台帳で作成したファイルの取込み」を行います。

「CSV形式ファイルの読み込み」ウィンドウが開くので、「実行」をクリックし、表示データを有効にします。

CSV形式ファイルの読み込み

区分番号	名称 摘要	単位	数量 日標準量	単価	金額
費目 1	直接工事費				
工程 2	土工	式	1		
種別 3	掘削工	式	1		
細別 4	バックホウ掘削積込 クローラ型山積0.8m3(平積0.6m3...	m3	5,000	183.00	¥915,000
細別 5	ダンプトラック運搬(10t積・機... バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3...	m3	5,000	483.00	¥2,415,000
種別 6	埋戻工	式	1		
細別 7	ブルドーザ敷均し 路体・築堤普通15t級/標準	m3	5,000	108.00	¥540,000
細別 8	タイヤローラ締固め 路体・築堤標準	m3	5,000	19.00	¥95,000
工程 9	排水構造物工	式	1		
種別 10	側溝工	式	1		
細別 11	排水構造物工(U型側溝)[市場単価] L=2000mm1000巻超え2000kg/個以...	m	200	6,943.00	¥1,388,600
種別 12	集水樹工	式	1		

実行

【注意】台帳で作成したファイルの取込みを行う場合には、予め「台帳管理」で「工種作成」を行う必要があります。

「工種作成」の機能については、別テキスト『工種作成(積算データ活用及び工種体系ツリー活用)』を参考にしてください。

【2. 予算の入力】

区分番号	名称 摘要	単位	数量 日標準量	単価	金額	構成 比率
合計	当初工程表				¥13,014,820	100.00
費目	直接工事費				¥13,014,820	100.00
1						
工程	土工	式			¥3,965,000	30.47
2						
種別	掘削工	式			¥3,330,000	25.59
3						
細別	バックホウ掘削積込	m3	5000.00	183.00	¥915,000	7.03
4	クローラ型山積0.8m3(平積...	山積	500.00	***入力行***		
細別	ダンプトラック運搬(10t積...	m3	5000.00	483.00	¥2,415,000	18.56
5	バックホウ山積0.8m3(平積...	山積	500.00	***入力行***		
種別	埋戻工	式			¥635,000	4.88
6						
細別	ブルドーザ敷均し	m3	5000.00	108.00	¥540,000	4.15
7	路体・築堤普通15t級/標準	山積	500.00	***入力行***		
細別	タイヤローラ締固め	m3	5000.00	19.00	¥95,000	0.73
8	路体・築堤標準	山積	500.00	***入力行***		
工程	排水構造物工	式			¥1,819,820	13.98
9						
種別	側溝工	式			¥1,388,600	10.67

左のようにデータが反映されるので、ここで「日標準量」を入力しておきます。

「日標準量」を入力しなくても、次の工程(バー)入力画面で直接日数を指定できます。

同じ工種が複数回にわたりに行われるような場合も、工程バーで直接期間を指定可能です。

次に工程入力画面に移動します。ここで画面上「日付設定」から休日の設定が可能です。

The screenshot illustrates the workflow for setting up a project budget and work schedule. It shows the following steps:

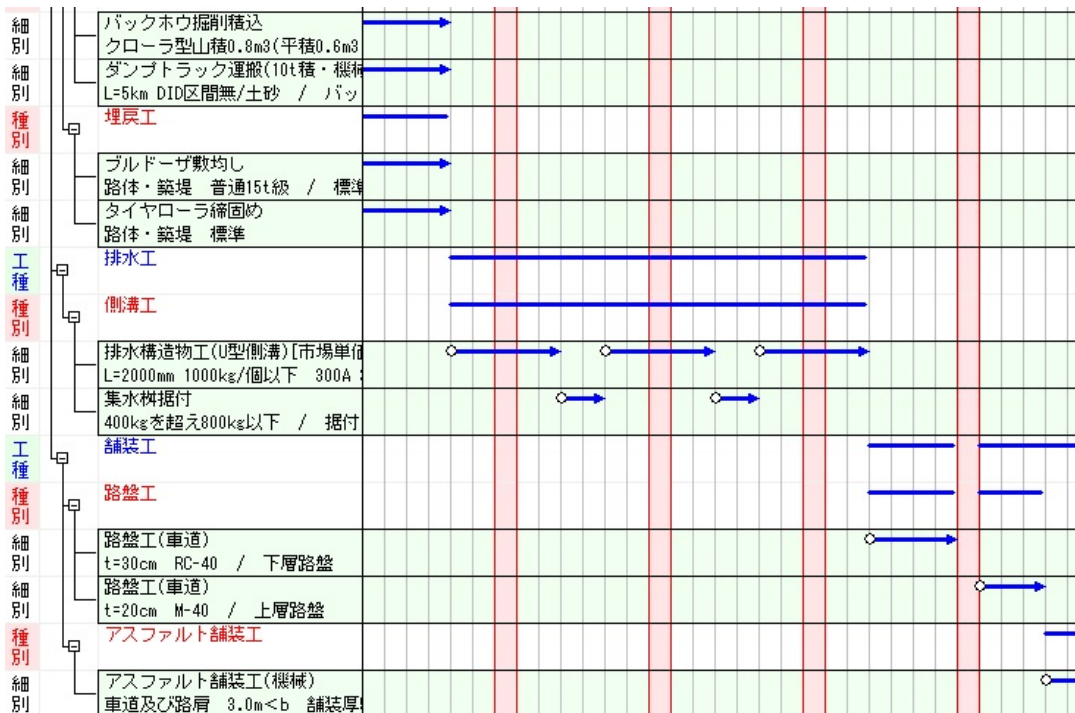
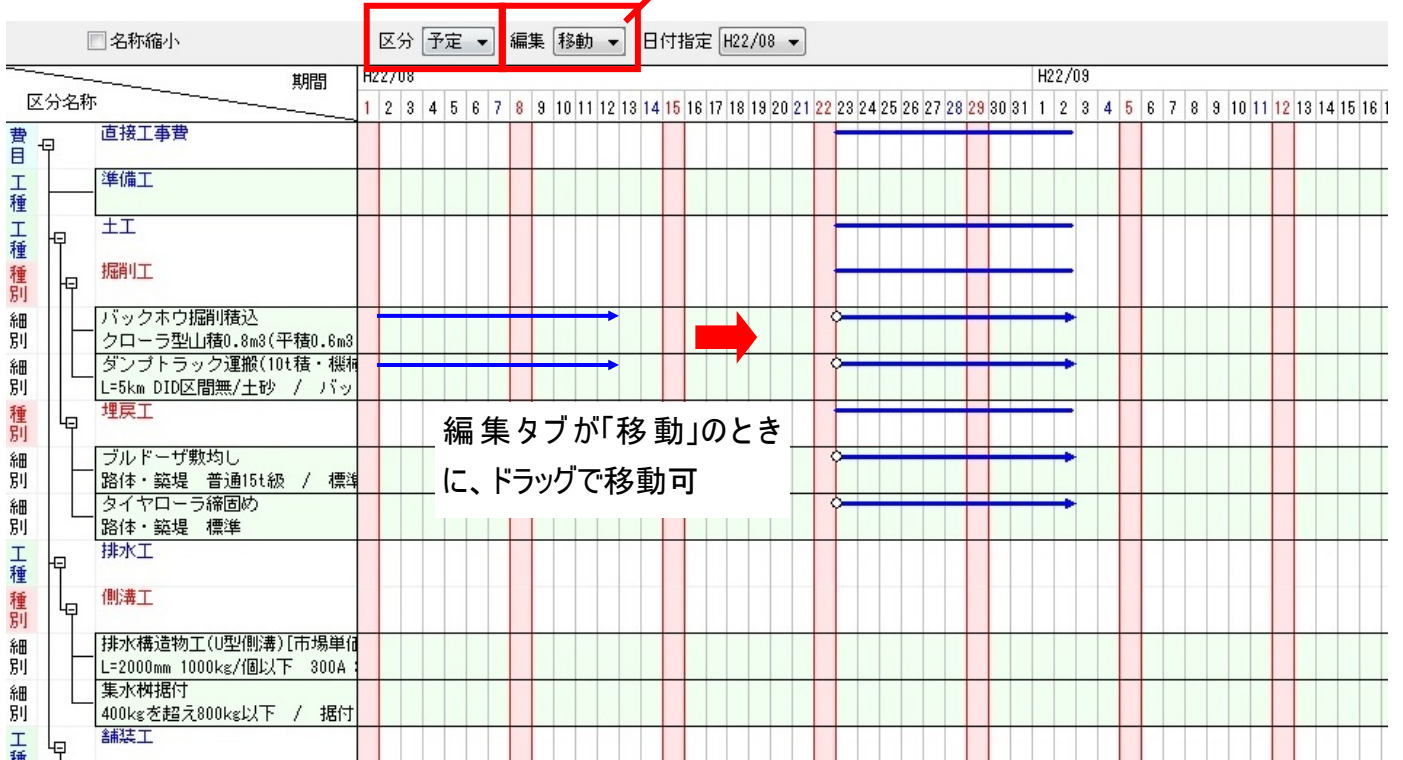
- 機能選択 (Function Selection):** The user navigates through the main menu to select the '工程入力' (Work Input) function.
- 日付設定 (Date Setting):** The user opens the '日付設定' (Date Setting) dialog to configure the work schedule. In this dialog, the '土曜休暇設定' (Saturday Holiday Setting) is shown with checkboxes for the 2nd, 4th, and 5th Saturdays selected.
- カレンダー (Calendar):** The user views a calendar for the month of September 2025 (平成27年 9月) to visualize the work schedule. The calendar shows the selected work days and holidays.
- 工程入力画面 (Work Input Screen):** The user enters the work schedule into a grid. The grid shows the work schedule for the month of September 2025, with columns for days 1 through 14. The work schedule is defined by the selected dates in the calendar.

【3. バーチャート工程表の作成】

予定バーを動かして、バーチャート工程表を作成します。



バーを追加したい場合は「編集」タブを「追加」に切り替え、予定バーを追加します。



同様にして、全ての工種のバーを入力します。

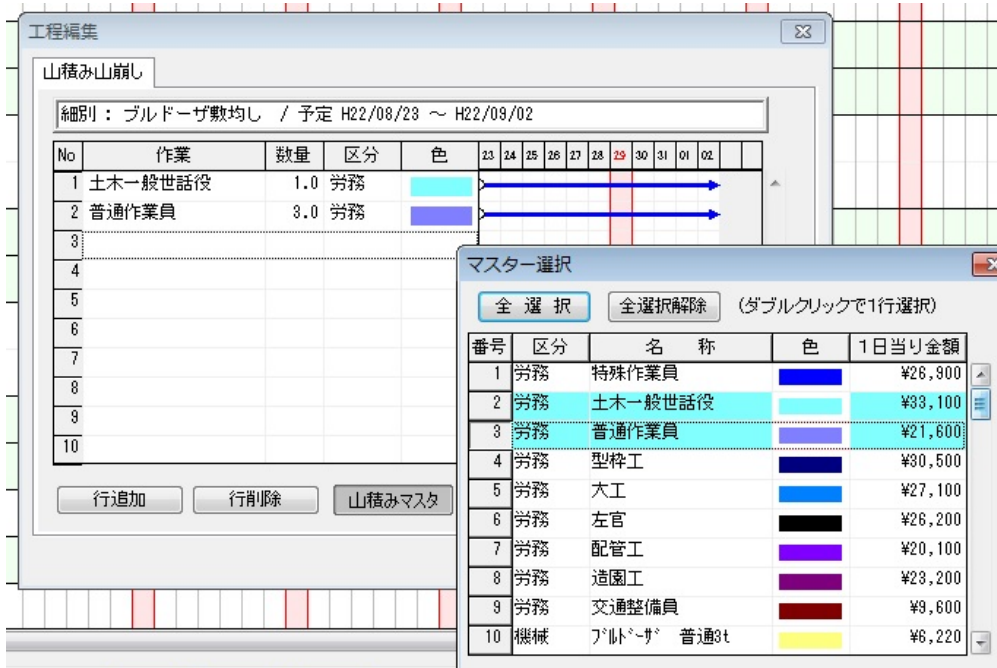
工程バーの長さ(日数)を増減させたい場合は画面上編集タブを「変更」に切り替えて行います。

変更工程や実施工程を作成するときは、区分タブを切り替えることで、作成することができます。



「区分」タブを「変更」や「実施」にすることで、変更バー、実施バーを追加することができます。

【3. バーチャート工程表の作成】



工程バーに「山積み・山崩し」の情報を設定することもできます。

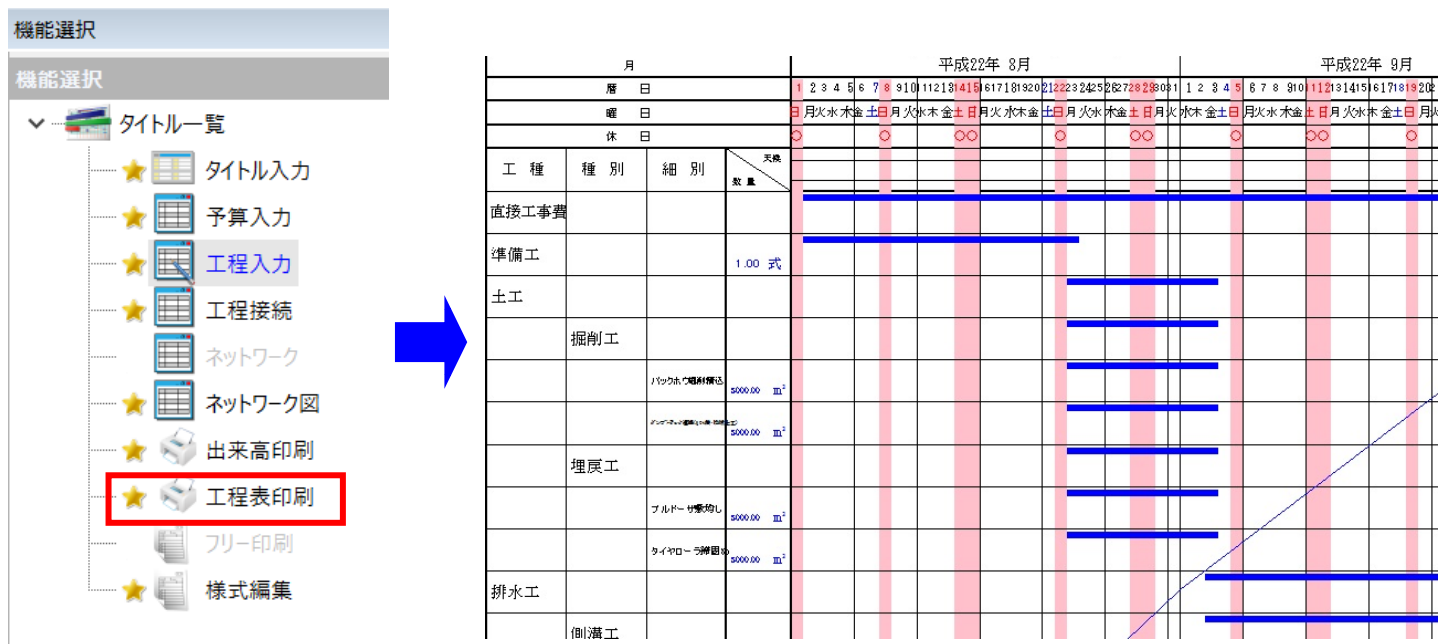
設定する場合は、該当する期間の工程バーをダブルクリックし、「山積みマスター」から機械・人員を設定します。



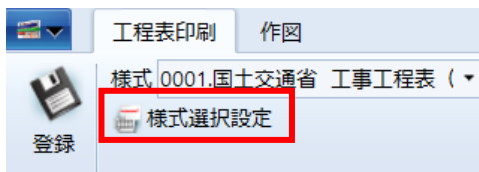
「山積みマスター」は、画面上のボタンから設定することができます。

また「現場日報システム」で日報入力を行っている場合は、実施バーを日報データから作成可能です。

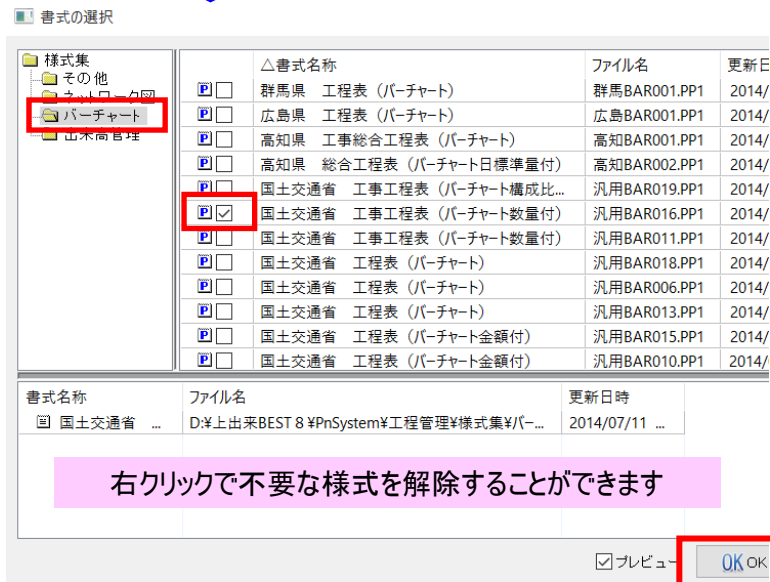
バーチャート工程表であれば、このまま「工程表印刷」より印刷することができます。



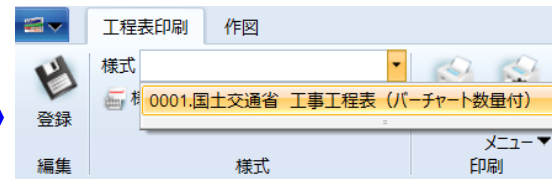
【4. 工程表の印刷】



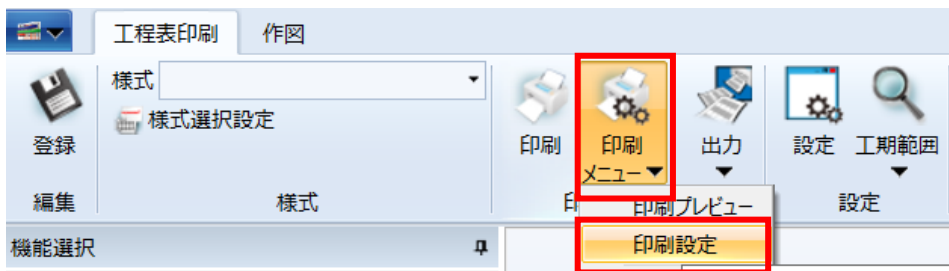
画面上リボンバー「様式選択設定」より、使用する様式を選択します。ここでは「バーチャート」-「国土交通省 工事工程表(バーチャート数量付)」にチェックを入れてください。



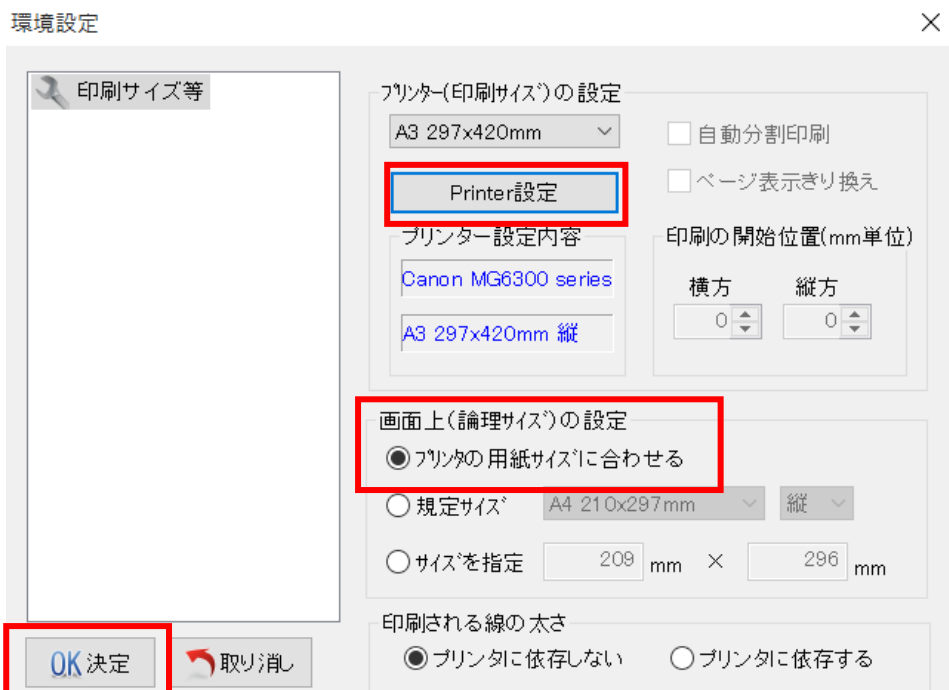
その後「様式」バーからチェックを入れた様式が選択可能になります。



右クリックで不要な様式を解除することができます



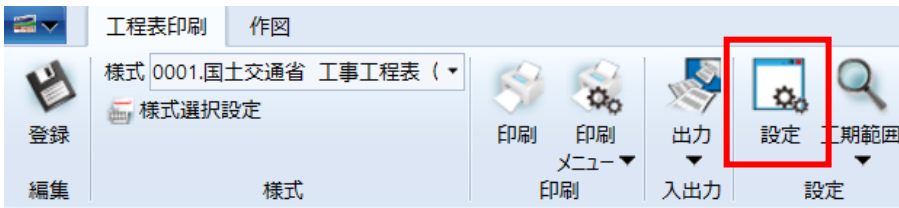
印刷する用紙の大きさは、画面上「印刷メニュー」-「印刷設定」より行うことができます。



左図の「Printer設定」ボタンを押して、使用するプリンタ、用紙サイズ、印刷の向き等を設定してください。

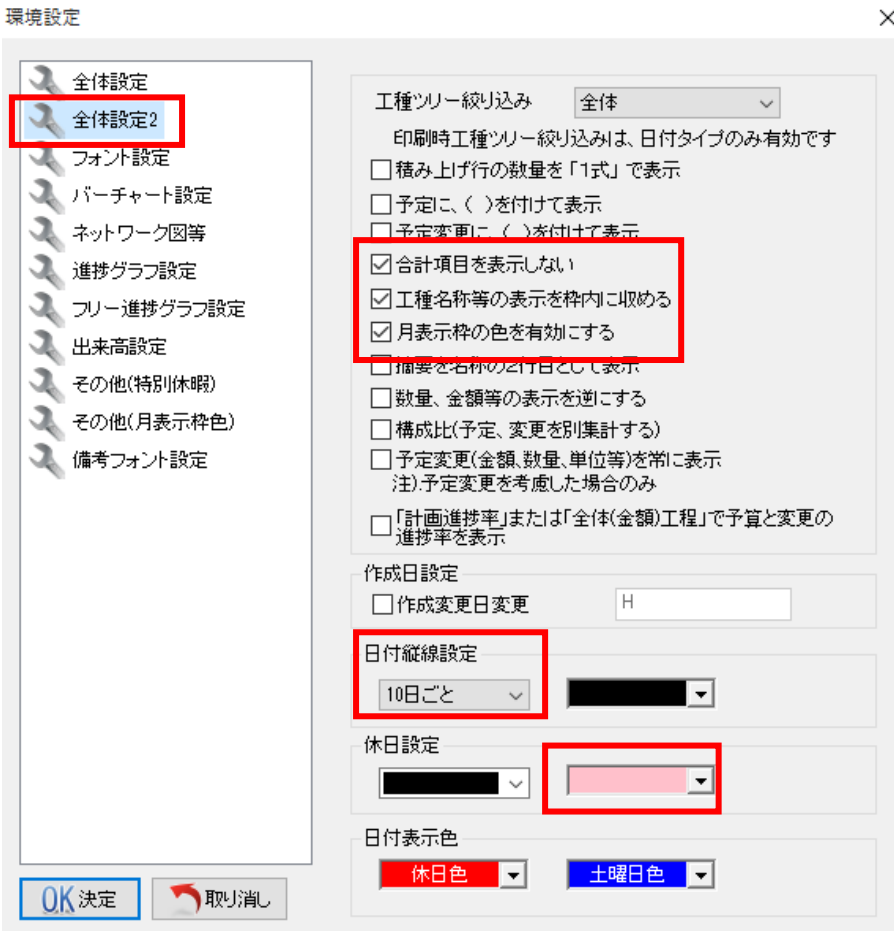
設定が完了したら「OK」をクリックします。

【4. 工程表の印刷】



画面上リボンバー「設定」ボタンより、文字の表示・色設定を行うことができます。

(ここでは設定の一例を紹介いたします)



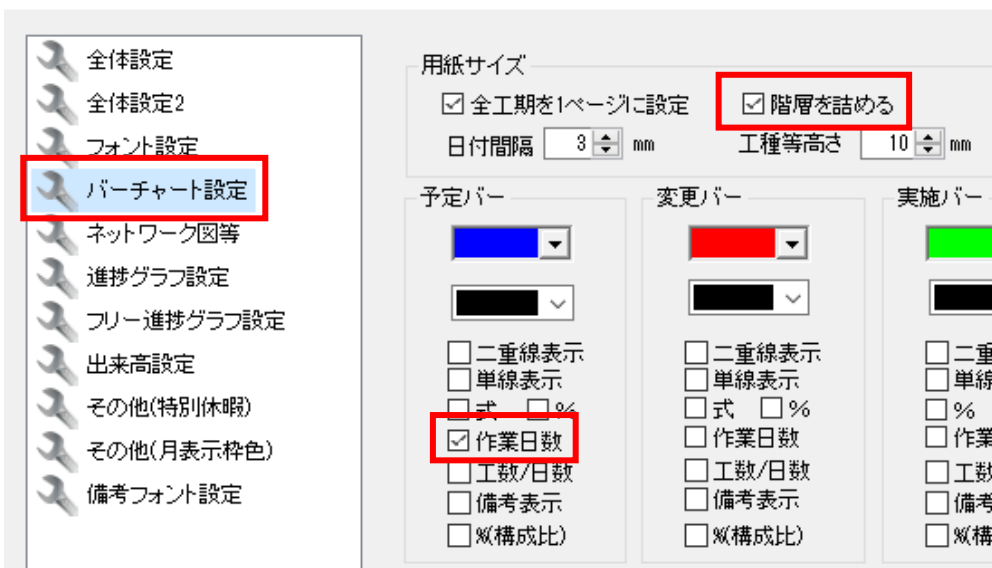
「全体設定2」

- ・合計項目を表示しない
- ・工種名称等の表示を枠内に収める
- ・月表示枠の色を有効にする
- ・日付縦線設定「10日ごと」
- ・休日色「薄赤」

「バーチャート設定」

- ・階層を詰める
- ・「作業日数」の表示

環境設定



この他にも、工期の長さ、工種数、発注者の求める表現等、細かい設定が可能です。

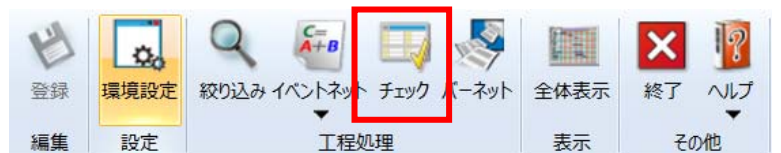
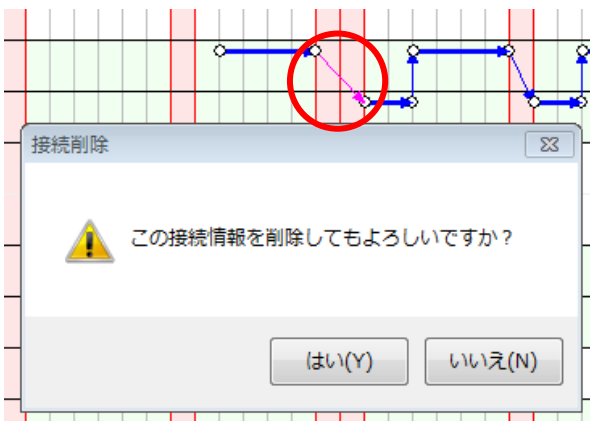
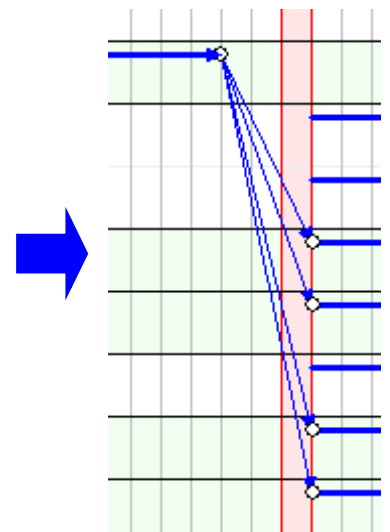
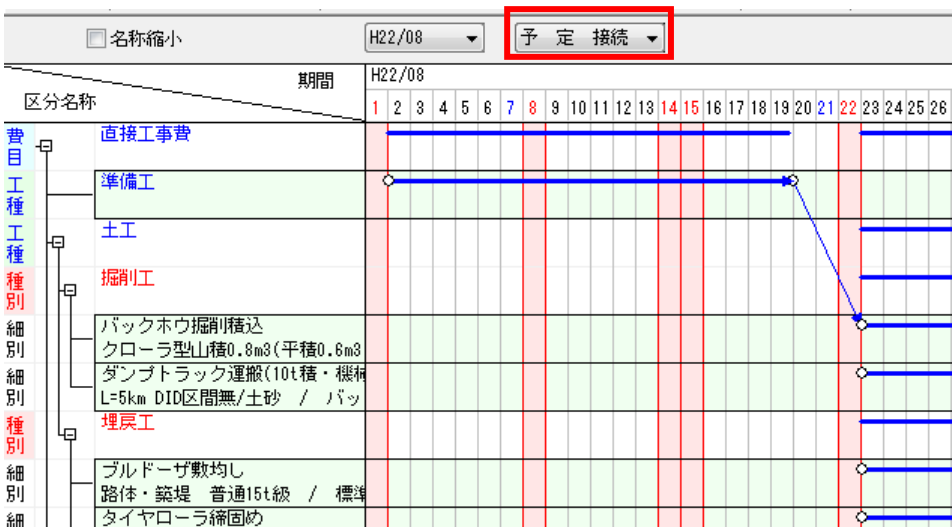
【5. ネットワーク工程表の作成】



ネットワーク工程表を作成する場合は、バーチャートを「接続」する必要があります。

「機能選択」より「工程接続」画面に切り替え、接続を行ってください。

- ・接続した工程は、必ず次の工程へ接続する必要があります。
- ・日付を戻すような接続はできません。
- ・大工種レベルでの接続が可能です(種別、細別も可)



接続情報を削除する場合は、接続の矢印をダブルクリックしてください。

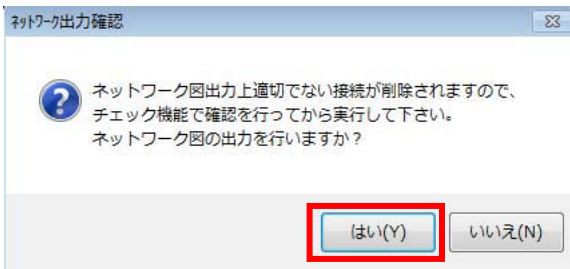
画面上リボンバーの「チェック」ボタンより、接続漏れが無いか確認することができます。



全ての接続が完了した後、画面上リボンバー「イベントネット」-「イベントネット出力」を行います。

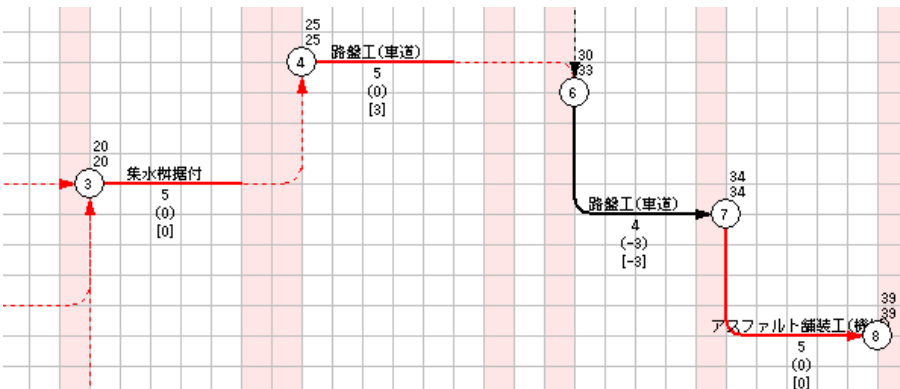
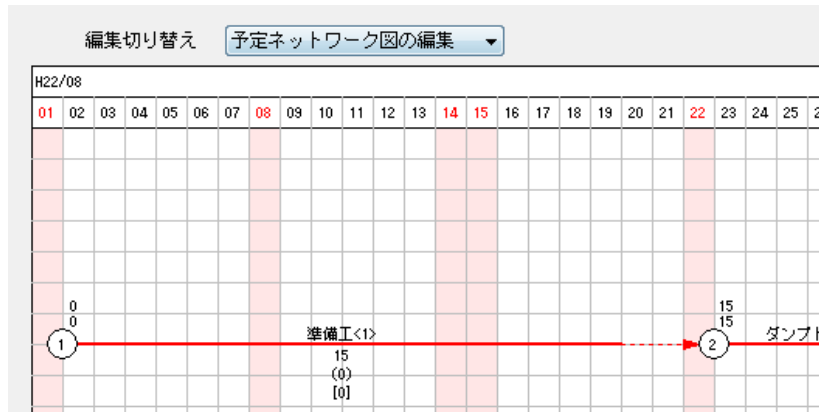
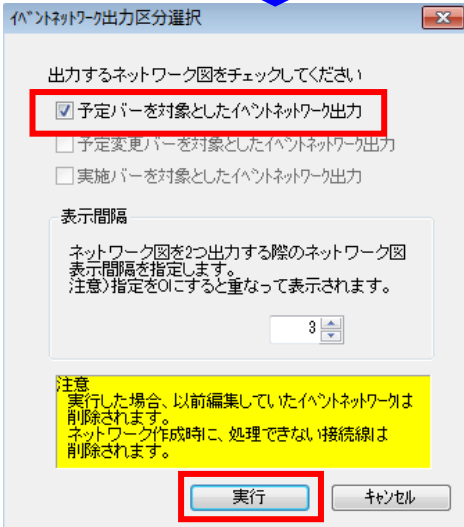
(一度出力したネットワーク図を修正したい場合は「イベントネット修正」を行ってください)

【5. ネットワーク工程表の作成】



「ネットワーク出力確認」後、出力するネットワーク図を選択します。

「実行」をクリックすると「ネットワーク」画面に移行します。



ネットワーク画面上で、イベント番号や作業バーをマウスで動かし、ネットワークの形を整えることができます。

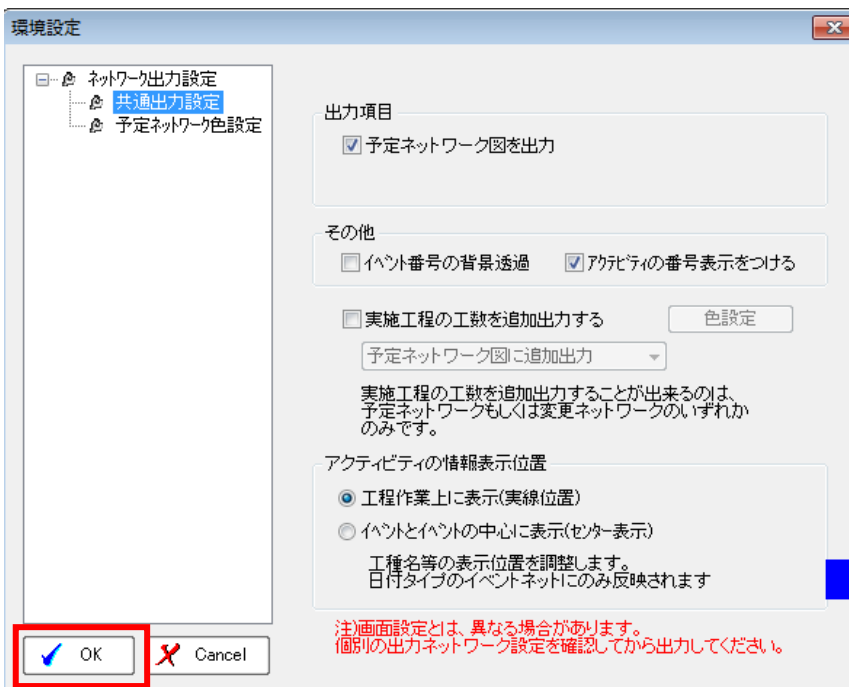
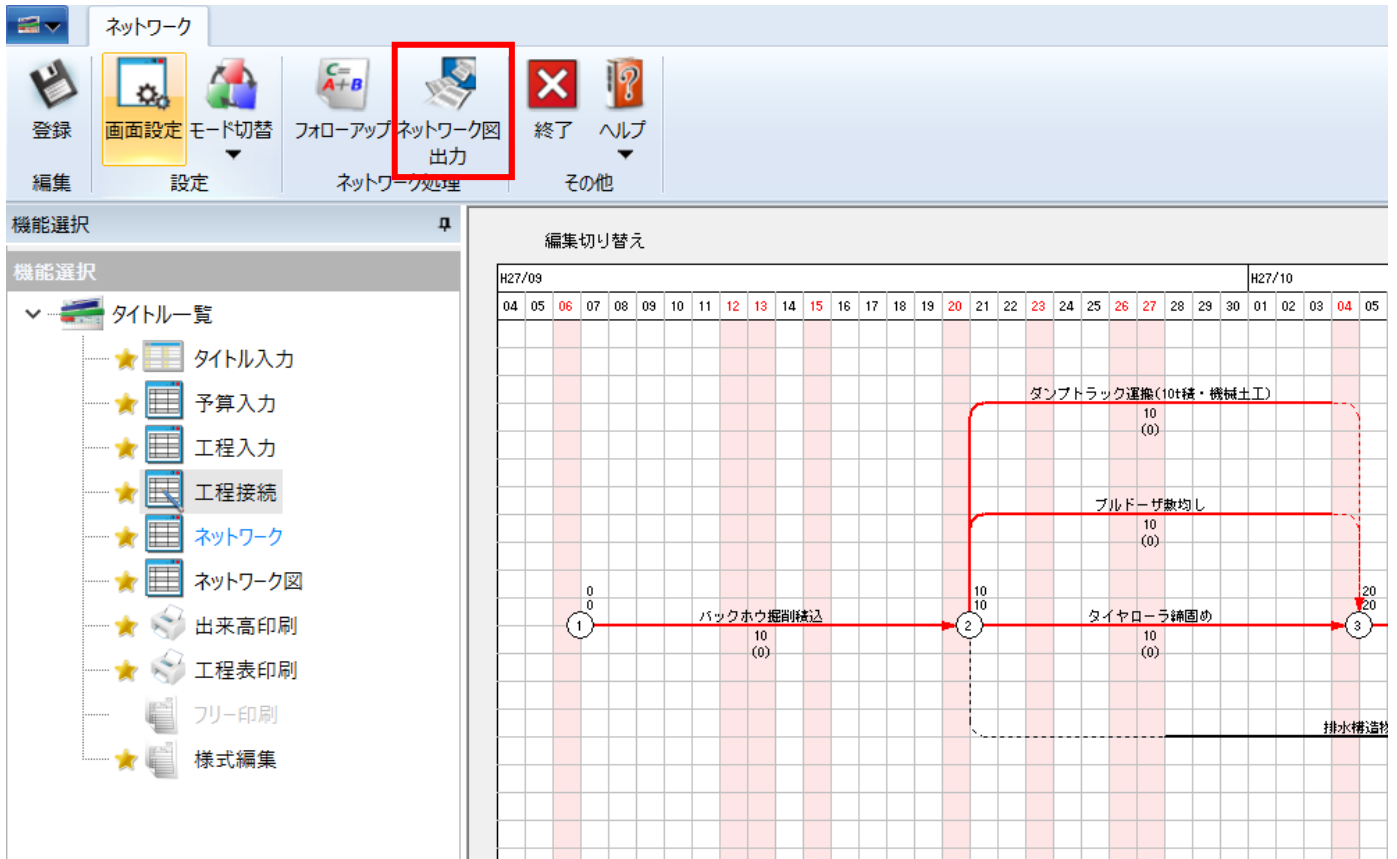
また、画面上「画面設定」ボタンから、以下のネットワーク図の表示に関する設定を行うことができます。

- ①「工種名」の表示
- ②「工数」の表示
- ③「トータルフロート」の表示
- ④「最早・最遅」時間の表示
- ⑤「フリーフロート」の表示
- ⑥「クリティカルパス」の線
- ⑦「アクティビティ」の線
- ⑧「ダミー線」の色・線種



【5. ネットワーク工程表の作成】

調整が完了したら、画面上リボンバー「ネットワーク図出力」より出力を行ってください。



画面左の「環境設定」ウィンドウが表示されるので、出力設定を確認し、「OK」をクリックします。

確認画面が表示されるので「はい」を押して、「ネットワーク図」画面へ移行してください。

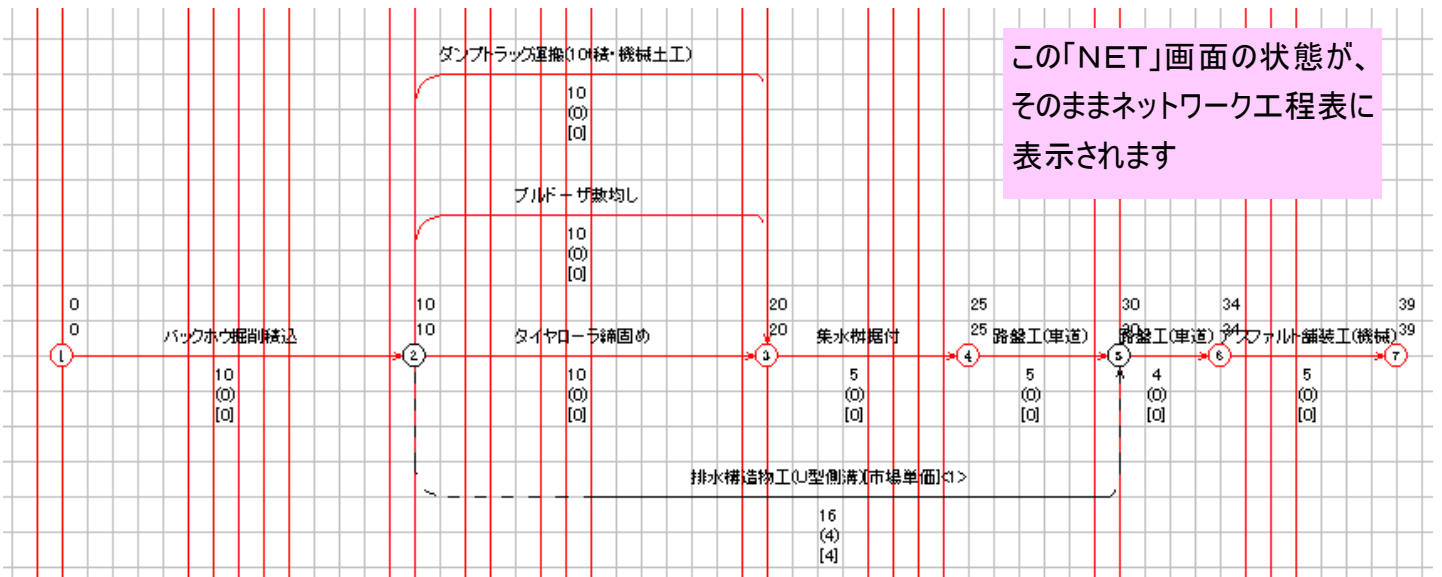
ネットワーク出力

⚠ 予定ネットワーク図を出力します。よろしいですか？

はい(Y) いいえ(N)

【5. ネットワーク工程表の作成】

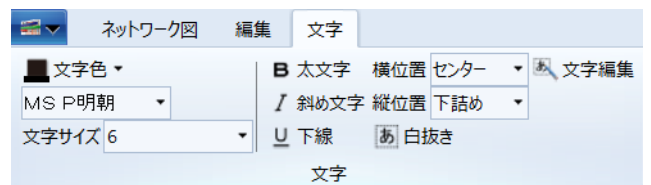
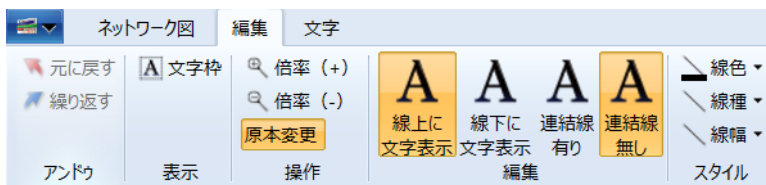
「ネットワーク図」画面では、ネットワーク図の文字の調整や移動、追加ができます。



- 選択
- 単線
- 曲線
- 楕円
- 箱
- 文字
- 貼り付け
- すべて選択

マウスを右クリックすると、左のウィンドウが表示されるので、文字や図形の追加を行ってください。

また、画面上リボンバーの「編集」「文字」タブより、線の太さや色、文字の大きさ・フォントの設定等を行うことが可能です。



機能選択「工程表印刷」より、調整したネットワーク工程表を印刷することができます。

- ★ ネットワーク図
- ★ 出来高印刷
- ★ **工程表印刷**
- ★ フリー印刷
- ★ 様式編集

